

審議会等の会議結果報告書

要点記録

会議の名称	令和4年度第2回茅野市環境審議会		
開催日時	令和4年10月31日(月) 午後1時から		
開催場所	茅野市役所8階大ホール		
出席者	<p>【審議会】 小池正雄会長、中野昭彦副会長、望月克治委員、井村淳一委員、行田幸三委員、土橋英一委員、古谷健司委員、両角智男委員、若宮崇令委員、是永剛委員、太田芳樹委員、五味祐太郎委員、守屋やす子委員</p> <p>【事務局】 小平市民環境部長、寺島環境課長、朝倉環境保全係長、渡邊公害衛生係長、和氣主任</p>		
欠席者	5名		
公開・非公開の別	一部公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	1 開会		
	2 会長あいさつ		
	3 会議事項		
	(1) 審議会の公開について		
事務局	会議の公開については、市の要綱により原則公開とされているが、本日の審議案件に関しては、①3,000㎡以上の太陽光発電設備設置、②販売を目的とした宅地造成、③3,000㎡以上の太陽光発電設備設置の審議では、申請者の企業情報に触れることが考えられ、公開とした場合に今後の営業活動上不都合が生じる可能性があるため、非公開がよいと考える。④第2次茅野市環境基本計画の進捗報告については、原則どおり公開がよいと考えるが、いかがか。		
小池会長	何か意見はあるか。		
委員	異議なし。		
小池会長	本件は一部公開とする。		
	(2) 審議		
	① 3,000㎡以上の太陽光発電設備設置		
	～非公開情報に関する審議のため、会議録も非公開とする～		
	② 販売を目的とした宅地造成		
	～非公開情報に関する審議のため、会議録も非公開とする～		
	③ 3,000㎡以上の太陽光発電設備設置		
	～非公開情報に関する審議のため、会議録も非公開とする～		
	④ 第2次茅野市環境基本計画の進捗報告について		
小池会長	第2次茅野市環境基本計画の進捗報告についての審議を行う。 事務局から説明をしてもらう。		
事務局	第2次茅野市環境基本計画では6つの目標を設定し、その目標を達成		

	<p>するために各取組を進めている。</p> <p>本日は時間の関係上、事前の配布資料を確認いただいた中で意見をいただきたい。</p>
小池会長	委員からご意見あるか。
若宮委員	<p>どれもとても大事な項目だと思うが、題目で終わってしまう可能性がある。自然のデータをこれから蓄積していかなくてはいけないと思う。どのような植物が大事かはインターネット等にも挙げられているが、大事だと言うだけではいけない。その種が保存されているのかしっかりデータをとって保全に繋げることが重要だと思う。</p> <p>例えば、八ヶ岳総合博物館では、植物やきのこの調査をしているが、そのデータの蓄積を行政がしっかり行うことで、未来を見通した正しい保全活動ができると思う。</p>
小池会長	今までよりも一歩踏み込んだ対応をしていただきたいという意見であったと思う。
中野副会長	<p>データのとり方について、2018年から2022年までの5年間で達成率が100%を超えて頭打ちの状態の項目がいくつか見受けられる。例えば、指標の18. 環境イベント等の参加者数などは見直しが必要ではないかと思う。</p> <p>温暖化対策関連の項目は、今後より重要な項目になるかと思うが、13. 茅野市全域の温室効果ガス排出量、14. 環境マネジメントシステム補助件数、15. 市公共施設のエネルギー使用量、16. 地球環境のことを考えた行動をしている市民の割合については、項目の設定の中で、茅野市全域の温室効果ガス排出量をもう少し細かく、そして厳しく見てもよいのではないかと。</p> <p>14については設定当初は有効なデータ収集になっていたかもしれないが、現在になってはどうか。15については、データの掘り下げをしてもよいのではないかと。</p> <p>8. 市内主要河川におけるBOD環境基準達成度、11. 可燃ごみ量についても、概ね達成され、頭打ちの状態なので検討が必要だと思う。</p> <p>データとしての価値が、ここ5年の状況の変化のために時代と合わなくなっているのではないかと。もう少し目標の設定をシビアに行うべきだと思う。</p>
小池会長	今の意見について、他の委員からも何かあるか。
土橋委員	<p>環境のことに 대해서는、もっと真剣に考えなければいけないのは共通の思いであると思う。何となく組織を守る、動きを勢い付けさせるような項目があったように感じる。これから何が重要なのか、もっと踏み込んだ形でつづきに協議をするべきだと思う。</p> <p>6協働で環境づくりに取り組むまちについては、環境の大切さは皆理解しているものの、何か関心が薄いと察知している。どのように警鐘を鳴らすべきかを早めに決める必要があると思う。</p>
守屋委員	<p>環境基本計画を組み立てた時は、それなりの理由があって項目を設定し収集した重要なデータであり、来年からこのデータの収集をやめることはないと思う。環境の分野は長期的な問題であるので、個人的にはこのデータの収集は継続した方がよいと思う。ただし、毎年行うのかは別として、違う視点を入れてデータを収集し、現状維持に加えて改善することにより新に作り上げたらよいと思う。継続してきたものは将来役に立つと思うので、現状のデータを大切にしながら中身を少しずつ吟味して改善したらよいと思う。</p>

小池会長	持続性、今までの蓄積を踏まえたくえで将来のために改善していくことが大切であるとの意見だった。
両角委員	<p>2 安全で人にやさしいまちについて、空き家の問題が記述させていた。ここ で出てくるのは苦情の要因としての空き家である。 空き家を特定していくのは難しい。他部署との連携とは都市計画課なのか、 いずれにしても空き家を特定できる情報を持っているのは市であると思うの で、上手く空き家を抽出しながら問題を解決してほしい。 また、建物の所有者にとって空き家であることを公表することは、固定資産 税等でリスクが多い。市内の不動産事業者は市と連携して移住の促進の活動 をしているが、現在移住希望者が多く、約半数が中古住宅を探しているとい うデータがある。問題ばかりを挙げるのではなく、需要があることを周知し ながら空き家を抽出することに役立てたらどうか。 地域創生課の広報担当とも話していることだが、移住希望者が多く、中古住 宅が求められていることを周知しながら、空き家相談会を市でも行ってい る。需要と供給のバランスをとりながら、この問題を解決していくことも一 つの方法であると感じている。</p>
小池会長	空き家というものの捉え方によっては、取組も変わってくると思う。
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 茅野市の計画については、総合計画を中心に多岐にわたる分野の計画を進め ていく。環境分野においては、環境基本計画をもとに政策を進めることにな る。来年度6年目を迎え、見直しの時期になると考える。委員の意見を踏ま えて見直しに反映させたい。 各施策等における進捗評価について、おおむね順調あるいは順調と記載され ているが、先ほどご指摘等いただいた指標に対してどれだけ達成しているか を評価している。目標があまりののではないかというご意見があった。また、 新型コロナの影響を受け、参加者数がなかなか達成できないような項目につ いては、遅れているという評価になりがちである。 一方で、データをきちんと分析してこれからの政策に反映していくべきであ るというご意見があったが、これからの行政には、証拠に基づく政策展開と いうものが必要になってくる。併せて、活動指標より成果をどのように置く かが目標の捉え方において大切になってくるのではないかと考えている。 環境基本計画の見直しで、特に指標については、審議会の意見を聞きながら 目標設定させていただきたいと思う。</p>
小池会長	茅野市環境基本計画の進捗報告について、しっかり成果を報告できるような 形に見直しができるように願う。 以上で審議を終了する。
	4 その他
	5 閉会
中野副会長	以上をもって、令和4年度第2回茅野市環境審議会を閉会する。